

能の巡回公演

文化庁令和 4 年度文化芸術による子供育成総合事業の 1 つとして行われている、「能」の巡回公演が本校で行われました。来校して下さった団体は、観世九臈会（かんぜきゅうこうかい）です。

1 ワークショップ（6月3日） 5. 6. 年のみ参加



「能」ってなに？見たことないからわからない。と言う人が多いと思います。当然子どもたちも、「NHKでやっているみたい。」と言えた子がちらほら…。

そんな子どもたちに、能の歴史や衣装など基礎から説明し、その良さに気付かせるのが、今回の目的。まずは、スライドショーと実物を提示しながら、説明してくれました。

次に体験コーナー①能の歩き方。



最初は苦戦していましたが、さすが子ども。練習しているうちに上手になってきました。

体験コーナーその②お面を付けて歩く。

まずは5年生の代表から。ステージに上がった子どもたちは、初めて見る能面に興味津々。





「本当につけていいの？」

「怖い顔だなあ…」

いろんな気持ちが起こっているようです。私は、絶対付けたくないな…。顔にくっついたまま離れなくなってしまったらいやだ ……ゞ(;>_<)シ
それくらい迫力のあるお顔。

でも、子どもは平気。能役者気分で、先ほど教わった歩き方で、ステージ上を歩きました。



「あの…取れないんですけど…」

鬼の面を付けた先生が、ひとり立ちすくんでいます。

「いいえ、それ先生のお顔ですよ((((((^_^;)」



今度は6年生。こちらは迷わず装着。

なんと言うことでしょうか。いつもは美しい担任の先生がおじいさんの顔に。後ろの児童が困った顔で見えています。w(° O °)w



おたがいに顔を見合わせて、会話をしているようです。

「どうだ！怖いだろう。」

「ぼくは怒っているんだぞ！！」

「えっ、何よ。」

こんなことをいっているのかな。

体験コーナーその③斬る！



何か作っています…



まさか、刀？



斬る構えの練習をしています。



先生も一緒になって、妖怪「土ぐも」退治の練習



と思ったら、先生が土ぐもだった！＼(◎o◎)／！ この子たち、食べられちゃったかな???



2 本公演(7月6日)

いよいよ本公演の日です。今日は全校児童で、能「土ぐも」と狂言「柿山伏」を鑑賞します。



まずは狂言「柿山伏」。6年生の国語の教科書に載っている作品です。柿を盗んで食べた山伏が、その持ち主に動物の物まねなどをさせられていたぶられるお話です。言葉は難しくてよくわからないけど、その仕草のおもしろさはよくわかったようで、笑い声が上がっていました。



続いて体験コーナー④狂言体験。

写真は、みんなでトンビになっているところです。

続いて、楽器紹介。笛や太鼓、鼓を紹介してくれました。…ん？学校にもあるぞ。八木節クラブで使ってる。





最後に、能「土ぐも」を鑑賞しました。衣装がかっこいい！剣を振るう姿も、糸がたくさん飛び出したのもすごくよかった、などの感想もありました。